

上田市教育委員会 10 月定例会会議録

1 日 時

平成 29 年 10 月 18 日（水） 午後 3 時 00 分から午後 4 時 30 分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ 5 階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	小林 一雄
教育長職務代理者	城下 敦子
委 員	寺 島 滋
委 員	北 沢 秀雄
委 員	平田 利江子

○ 説 明 員

中村教育次長、浪方教育参事、小野沢教育総務課長、高木学校教育課長、小林生涯学習・文化財課長、唐澤人権同和教育政策幹、池田スポーツ推進課長、加藤丸子地域教育事務所所長補佐、清水真田地域教育事務所長、清住武石地域教育事務所長、池内丸子学校給食センター所長、竜野中央公民館長、滝沢西部公民館長、山崎上田図書館長、

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 重点目標の中間報告について

「上田市教育支援プランの推進」（教育総務課・学校教育課）

○資料1により横澤学校教育課学校教育担当係長より説明（要旨）

今回、中間報告として上半期の状況を各担当課によりまとめを説明する。

①学力の定着・向上について、「上田市教育支援プラン」の推進により生活・学習ノート「紡ぐ」の試行と検証、また、中学校数学専科教員の小学校への派遣を行っている。「紡ぐ」のノートを小学校5校、中学校3校の試行状況を検証し、平成30年度から全小中学校への活用を目指している。中学校数学専科教員の4人を中学校区内の小学校に派遣して数学の授業を行っている。中間報告として、「紡ぐ」のノートを小学校5校、中学校3校で試行実施としている。全小中学校から意見聴取をし、学力向上委員会小委員会で検証を行っている。また数学の専科教員4名を中学校区内の小学校へ派遣し、数学の授業を行っている。教員を派遣する中学校に市費非常勤講師を雇用して配置している。

②英語教科への対応とコミュニケーション能力の充実について、本年度中の策定を目指している。中間報告として、小学校英語教科化推進委員会の開催、教職員向け研修会開催、公開授業の実施、小学校英語教科に併せ推進計画を策定している。

③特別な支援を要する児童生徒への支援について、小学校8校、中学校4校の特別支援学級にタブレットパソコンの導入を目指している。中間報告は、2学期までにパソコンと無線LAN環境の環境整備を完了し、開始している。

⑤放課後児童対策の充実について、放課後児童支援等の処遇改善の継続の取組について放課後児童支援員等の処遇改善（給料の増額）を実施している。中間報告は、12月の変更契約締結に向け、各指定管理者より処遇改善額を提出させている状況である。

○資料1により小野沢教育総務課長より説明（要旨）

④食育の推進・充実に向けた環境の整備について内部検討組織において、施設及び運用方法について検討を進める。中間報告として学校給食検討会議を設置し、検討会議を2回、部会を3回開催した。学校給食センターの施設整備に向けた案を作っているという点と用地の選定に向けた各種検討を行って調整し、進めている段階である。今年度中には学校給食施設の運営方針に基づいて、議会、市民等への説明を行うとともに、年度内にできれば用地を決定する方向で検討会を進めていきたい状況である。

⑥小学校のあり方の検討について、7月に「小中学校のあり方研究懇話会」を設置した。今年度中に小中学校のあり方研究懇話会の基本方針を策定することを目標に、懇話会を年4回程度開催し、必要に応じて市内小中学校や先進地の視察を実施していきたいところである。中間報告として、7月27日に第1回小中学校のあり方研究懇話会を開催した。第2回は10月31日に開催する予定である。先進地視察については、日程、視察先の選定地を調整中である。

○質疑

城下委員

①の生活・学習ノート「紡ぐ」に関して全小中学校から意見を聴取すること、小中学校英語教科推進委員会の開催について、学校給食検討会議等の内容をそれぞれにご説明いただきたい。

小林教育長

それでは、学校教育課の方から説明を願いたい。

高木学校教育課長

学力向上委員会については、学力を向上させるためにどうしたらよいかなど各学校から委員を出して、研究や研修を行なっている。

城下委員

「紡ぐ」に対して各学校の意見聴取はどうか。

高木学校教育課長

それぞれの学校に「紡ぐ」の内容についてどのような感想があるのか、直すべき点があるのか良いものにするために学力向上委員会で意見を集約してまとめていく段階である。

浪方教育参事

「紡ぐ」についての補足説明をさせていただくと、子どもたちの意欲が感じられるという先生たちの意見である。子どもたち、保護者たちにどういう与え方をしたらよいのかということで、各学校で工夫してもらっているが職員についてバラつきがある。委員の皆様方のところでは生活ノートのような作文をメインに考えておられる方もいる。どうしても紙面を割くとそれが大きくなると中身が整理できないということで、学力向上に絞っていきましょうということは、確認が取れている。特別生活ノートの代わりになるような物が必要場合は、分けて考えていただければよい。学力ということで家庭学習、そして授業との予習、復習のつながりに活かしたいということで方向が見えてきているところである。

小野沢教育総務課長

学校給食検討会議2回というのは、教育総務課、学校教育課、それぞれの給食センター全体一堂に会するのが検討会議である。部会については、一部の栄養士と教育総務の職員、もしくは現場の職員と教育総務の職員が個別の事項について検討する会である。検討会議が2回であるが、第1回については、4月に前年度までの内容について確認を行うとともに、今年度は具体的にどのような事項をと確認を行う会議である。2回目については、8月に農林部と地産地消について、また、給食センターの整備について、農政課職員と検討会議それぞれのメンバーで会議を行なった。例えば学校給食の調理現場では、地元の農家と給食センターそれぞれが情報交換を行ない、この時期は地域ではこの食材が一定数用意できるなど情報交換の場を設けていたらよいのではないかななどの意見があった。それ以外に、5月に学校給食センターの建設に

係る庁内検討会議を開催した。教育委員会以外に市長部局の都市建設部や政策企画部、総務部等の部局が集まり、給食センターについてどのように計画的に進めていけばよいか、それに当たりどんな課題があるか、それぞれ関係する部署の関係する業務と今後どのようなスケジュール調整が必要なのかという打合せを行った。それ以外の2回の打合せについては、6月の検討内容として、配送車の現状、新センターに使用するコンテナの検討、食缶の規格が決まるとコンテナの大きさが決まってくるため、給食を配送する車がどれだけ必要となるかなどの検討を行った。8月4日には前回の検討内容を踏まえて、具体的に使用する食器はどうするのかコンテナの積載パターン、配送距離の問題で、それぞれ2か所ほど想定しているが、現状どれだけ時間がかかるのか等、個別具体的なシミュレーションを行っている。

城下委員

中間報告だけでなく、なるべく随時報告をいただければありがたいと思う。

小林教育長

進んでいる状況をなるべく報告いただけるようお願いしたい。

北沢委員

②の英語教科化への対応の中間報告については、教職員向けの研修会開催と公開授業の実施ということで素晴らしいと思う。年間計画でどのように教育課程を作成し進めるのか。英語教育推進計画に基づき、教職員向け研修会の開催をいつ誰を対象にしてどのように行われるのか。すでに講師は決まっているのか。分かっている範囲で内容を教えていただきたい。

高木学校教育長

7月に前橋市へ報告書で指定を受けた学校が視察に行っている。公開授業については、10月、11月の間に指定された学校の担任の先生がそれぞれに英語の授業を行い、他の学校の先生たちは公開授業へ行きそれぞれの英語授業の内容を参考に進めていく予定である。研修会については、同じく前橋市に行った時の英語を進めた指導主事の先生をこちらにお招きして小学校の教員を対象に講義をしていただいた。

北沢委員

英語を教えることに不安を抱えている先生が多くいると現場から聞こえてくる。公開授業をどの学校で行うのか、いつ研修会を行うのか。先行実施される4月までに、公開授業や研修会を何回行って対象は誰なのか。上田市では、先見の明があって英語の宮本主事を置いた訳だから、具体的な計画を立てて進めてほしい。

高木学校教育長

公開授業については日程が決まっている。

小林教育長

各学校へ指導主事が出向き、数多くの研修を行なっていると聞いている。

浪方教育参事

北沢委員がおっしゃるように、小学校のほとんどの先生が英語の授業を行うという意識に持っていかなければいけない。現実問題として推進委員の皆さんが実際に中学年部会と高学年部会でそれぞれの情報や地区で実践授業を行っていただく。それを皆でこういう風に行えばできるというような体験をしていただく。今回、各市会より選ばれた委員は英語の免許を持っていない、不安を持っていた人が指導主事のおかげで意欲的に行っている姿や子どもたちが活発であったという幾つかのよい状況が増えてきた。今度、飯山市の方でALTの先生を小学校に配置する話を聞いている。上田市でもどの程度ALTの先生を中学校からどの程度小学校へ派遣できるのかシュミレーションしながら、研修を行なっていくところである。実際に困っている先生の立場に立ちながら進めようと思っている。

高木学校教育課長

公開授業については今のところ11校の学校が10月の半ばから12月の中旬にかけて予定されている。それぞれ3年から6年の担任の先生が主体となって授業を行っていく予定である。

小林教育長

すでに学校単位で公開授業を行われた学校もあるのか。

高木学校教育課長

何校かある。

城下委員

それは委員も公開授業の予定をいただき、見学させていただくことはできるのか。

高木学校教育課長

できると思う。

寺島委員

市長部局へ提出するにはいいと思うが、例えば、⑥の小学校のあり方懇話会については、教育委員が出席参加しているので会議の内容が分かる。その他についてはどのようなになっているのか分からない。①の学力の定着・向上についてもどのような意見が出ているのか、学校給食の検討会は何回行ったのか、研修会も何回行ったのかという話ではなく、どのような検討をしているのか、結論でなく途中経過のような報告がほしい。この後、毎月の報告事項があるのだが、その報告事項を紙でいただいても内容の分からない案件が多く、定例会が形態化している。会議の内容全てとは言わないが、どのような会議や検討を行いどのような意見が出ているのか、最終的な結論が出ていなくても分かるので、可能な限り報告できるようお願いしたい。

小林教育長

とくに主要な課題については、できるだけ委員の方へこのように進んでいるという報告ができるようお願いしたい。

城下委員

①の小中学校が連携して中学校の先生が小学校に出向くことや、②の英語教科化への対応について実際の現状を行ったからよいのではなく、現場の先生方の状況をしっかりと把握していただき、どれだけ効果が上がっているのか、もしかして問題が起こっていないかそこまでをきちんと検証していただきたい。例えば、先日の学校訪問時、中学の数学の先生が小学校へ来ていたことであるが、小学校の先生は前に立ち授業を行ない、中学から来た先生は隅の方で個別対応にあたっていた。それを見たときに、中学から来ている先生が授業の組み立て方を学ぶようになっていて、本来の子どものためのベストな小中連携の授業ではないような気がした。実際に現場で授業がどのような状況で行われているのか、しっかりと見ていただき、検証をしていただきたいと思う。

高木学校教育課長

小中連携の授業の結果については、それぞれ学校から課題や意見等を報告していただき、検討し活かしていきたいと思う。

小林教育長

趣旨がずれている部分については修正していきたいと思う。

○全員了承

(2) 重点目標の中間報告

「学校のあり方の検討と計画的な改築・改修による教育環境の整備」

○資料1により小野沢教育総務課長説明（要旨）

①学校施設のあり方の検討について、今後の学校施設整備に向けた各種の施策を展開するための基礎資料の作成ということで、学校施設管理台帳の作成を年度内に行う予定である。小学校25校、中学校11校、それぞれ棟ごとの基礎的なデータを文部科学省に提出しているが、これに加えて過去の営繕の実施状況やプラスアルファの情報を加味したデータベースを作っていく、今後の施設のマネジメント、長寿命化対策等、さまざまな資料に活かしていくところである。これについては、7月までに各学校の主な校舎ごとの施設管理台帳様式を作成し、8月以降、施設整備担当職員が過去のすべてのデータの入力を開始し、年度内の入力完了を目指す状況である。

②小中学校施設の計画的な改築・改修について、昨年度からの継続事業を4点と今年度の終期事業1点実施している。まずは川西、本原小学校の改築事業、第三中学校、第四中学校のそれぞれの改築事業については継続して実施している。川西小学校のプール改築事業については、6月に竣工し供用を開始し、外構工事については年内に竣工を予定している。本原小学校の外構工事は、7月に契約を締結して10月中旬に竣工予定となっていたが、グラウンドから大量の

土石、土砂が出た関係で、現時点では10月の竣工は厳しい状況である。第三中学校の南校舎、北校舎、体育館等の改築が竣工した。今年度は、旧校舎と旧体育館、プール解体工事を8月に契約を締結し、外装整備、プール改築については10月以降契約の見込みである。旧体育館については、外壁に一部アスベストが混入されている疑いがあり、検査を行ったところ該当し、撤去には3カ月ほど期間がかかるため、竣工予定が遅れる見込みである。この件に関しては先週PTAの皆様説明を行っている。第四中学校プール改築事業については、6月に竣工し、供用を開始した。外構工事については7月に契約し、年度内に竣工予定である。最後に、小学校トイレの男女別化については昨年度からの継続事業である。夏休み期間中に工事を着工し、10月中に北小、神科小、南小学校低学年用トイレ4箇所すべての小学校において予定どおり10月中に竣工・供用開始を予定している。

○全員了承

(3) 重点目標の中間報告「文化遺産の継承と活用」(生涯学習・文化財課)

○資料1により小林生涯学習・文化財課長説明(要旨)

①史跡等整備推進と文化財の保護と活用について、文化財の調査と指定、史跡整備事業、埋蔵文化財保護事業、市内文化財の保存・活用を行った。文化財の調査と指定は本年度1件行い、公園前の武家屋敷を調査し、指定文化財の候補として準備を進めている。史跡整備事業については、上田城跡復元整備事業と信濃国分寺整備事業の発掘調査に係る報告書の作成を行っている。埋蔵文化財保護事業については、手筒山遺跡の発掘調査作業が終了し、報告書を作成している状況である。市内文化財の保存・活用という部分では、旧千曲会館、無形文化財継承団体への交付の決定が済んだところである。「文化財 de 文化財」事業については、11月の実施に向けて準備中の状況である。

②郷土の文化・歴史、偉人の業績等を知る機会の創出について、郷土の文化・歴史、偉人の業績をテーマとした特別展及び講座の開催、郷土の文化・歴史に係る資料の調査研究を行った。郷土の文化・歴史、偉人の業績をテーマにした特別展及び講座は、特別企画展として「真田信繁と真田家の絆」、企画展には「上田城下町 川の謎」を開催、ほか博物館講座より古文書講座を実施している。また郷土の文化・歴史に係る資料の調査研究については、春季企画展、親子 de 縄文体験塾、学校出張歴史体験教室を実施し、秋季企画展、市民講座及び資料館講座、奈良時代を学ぶ会においては実施中である。

③「上田市歴史文化基本構想」の策定事業について、上田市歴史文化基本構想策定委員会の12月開催に向け、準備を進めている。ほか、文化財の現地調査及び調査カードの作成について、古民家調査の進捗度が60%、仏像調査の進捗度が65%の調査状況である。

○全員了承

(4) 重点目標の中間報告

「生涯学習の推進による地域の教育力の醸成」

○資料1により小林生涯学習・文化財課長説明(要旨)

①社会教育施設の計画的な整備について、西部公民館外構工事は、年度内の竣工に向け、工事を進めている。6月に上田市公民館条例の一部を改正し、8月1日から新館で業務を開始している。神川地区拠点施設の保育園・公民館整備について、実施設計及び造成工事は計画どおり進んでいる。上田市図書館の整備に向けた検討より、第二次上田市図書館基本構想については社会教育委員会議で3回会議、9月にパブリックコメントを行ない進めていく状況である。

②地域と連携した学校を支援する取組の充実について、地域が学校を支援する周知、広報の取組については、コーディネーター用のマニュアルとあるが、現在はボランティア用の素案を作成中で12月中に発行する予定となっている。チラシについては、20,000枚を作成し、自治会に回覧したほか、市内全児童生徒の保護者、公民館等に配布した。また、統括コーディネーターの配置、及びコーディネーターの育成について、4月に統括コーディネーターを1名配置し、各学校を公民館の担当者と一緒に全ての学校を回り、課題や取り組みの調査を終わるところである。研修会については、視察も含めて現在企画中でボランティア保険にも9月30日現在で1,200の加入数となっている。

③人権同和教育・啓発の推進について、上田市人権基本方針に基づく人権同和教育の推進より、市内小中学校、PTA、自治会、企業等において、さまざまな機会を捉え人権教育・啓発を進めている。また、人権同和教育に関する講演会・研修会の実施は、学校、地域企業等で講演会や研修会、合計約230回開催し、106,000人の参加となった。10月12日には、人権の集いとして水谷講師の講演会を開催し、約1,500人の参加となった。

○質疑

城下委員

①の図書館基本構想について策定するとあるが、今年度中に策定できるのか。今はどのような状況か。

小林生涯学習・文化財課長

今月中に策定する予定である。

城下委員

また、社会教育委員の会議を行い、9月にパブリックコメントを行ったとあるが、進捗状況を教えてほしい。

山崎上田図書館長

素案ができています。パブリックコメントの意見を聞き、社会教育委員と検討したいと考えています。

城下委員

その素案の内容をお聞きしたい。

中村教育次長

素案の内容はパブリックコメントのホームページに掲載されているので見る事ができる。

山崎上田図書館長

パブリックコメントをかけた意見は終わっているため、今の時点では見る事ができない。

城下委員

今の状況が聞きたかった。

山崎上田図書館長

素案についてはもっと踏み込んだ形で説明したいと思う。

中村教育次長

最終的には定例会会議で配布する。

小林教育長

今後の予定とすれば社会教育委員と検討したうえで、教育委員会の会議にかけていくことでよろしいか。

北沢委員

②の統括コーディネーター配置及びコーディネーターの育成について、統括コーディネーターの開始はいつからなのか、名前や研修会等の概要を教えほしい。

小林生涯学習・文化財課長

統括コーディネーター1名を正規職員として配置しており、塩尻市も嘱託として配置と聞いているが上田市は先進的である。名前は伴 美佐子で県のアドバイザーも行なっている。研修会については、前半は各学校の様子を聞き、統括コーディネーターの周知を行い、後半は研修の一環として各地区単位でコーディネーターが集まって情報交換会を行い、中学校単位でも交流会を行った。また、11月にはコーディネーター30名が上越市へ先進地視察を計画している。

平田委員

②について、とても良い事業だと感じられる。地域の力が強い学校は、学校へ行ったときにとても子どもたちが生き生きと感じられ恵まれていると思う。コーディネーターは今後どのような方向に考えていくのか。

小林生涯学習・文化財課長

今後、コーディネーターを中心に作り上げていくが、学校の意見も捉えて学校の望むこととコーディネーターができることが一致するような取組を進めていきたい。

○全員了承

(5) 重点目標の中間報告「生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備」

○資料1により池田スポーツ推進課長説明（要旨）

①スポーツ施設整備の推進について、スポーツ施設建築物の長寿命化計画調書の作成とスポーツ施設整備計画の検討より、本年度5月に国が示す「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン(案)」や「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、それぞれ個別のスポーツ施設整備計画策定に向け、施設の減評価や個別施設計画の検討など業者委託支援事業を発注した。併せて、主要建築物の大規模改修実績を調査し、個別施設台帳の作成に着手した。今後、庁内の関係課

の調整、関係者団体の体育協会や地域協議会等の意見をいただきながら年度内に原案を作成していきたい。また、教育委員会、社会教育委員会の協議等の意見をいただきながら、平成30年度の早い段階で公表をしていきたいと思う。

②市民スポーツへの関心や参加意欲の促進及び生涯スポーツ社会実現のための施策について、スポーツに関する情報発信、競技力の向上、だれもが気軽にスポーツに親しむ機会の拡大、スポーツを通じた姉妹都市・友好都市との交流の取組を行った。スポーツに関する情報発信は、「広報うえだ」、ホームページ、スポーツプレス等で情報発信を行っている。競技力の向上は、全国大会の支援として、これまでに18件ほど奨励金を交付している。だれもが気軽にスポーツに親しむ機会拡大は、「夢の教室」今年度7校15クラスのうち9月末で2校4クラスを実施した。スポーツを通じた姉妹都市・友好都市との交流は、国外友好都市との事業、日中国交正常化45周年記念として中学生卓球交歓大会を1回実施した。先日ハーフマラソンが行われたが、1校から6名ランナーお越しいただき交流が図られた。

③総合型地域スポーツクラブの支援活動について、総合型地域スポーツクラブの活動周知、協働イベント等の開催の取組を行った。総合型地域スポーツクラブの活動周知は、広報うえだ、スポーツプレス等で情報発信を行っている。協働イベント等の開催については、平成30年に4つのスポーツクラブを協働で何か事業を実施したいということで進めていたが、9月3日に先行して協働事業を開催した。

○質疑

城下委員

①のスポーツ施設整備の推進の「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン(案)」の内容を説明いただきたい。

池田スポーツ推進課長

ガイドラインについては、「インフラ長寿命化基本計画」について、体育施設に限らず、学校施設、公共施設全般について今後人口減少社会の中で集約あるいは統合、統廃合を見据えて平成32年度までに計画を作成するというものがある。スポーツ施設を特化したものをスポーツ庁の中でガイドラインを作ったというもので、具体的にはやり方を示していて、どういった計画で作っていけばよいということを示している方法である。例えば、施設、建物の状況が良いのか悪いのかを出し、その中で良ければ次はどうしていく、また悪ければ、手を加えるのか、あるいは廃止するのか結果が出ても、政策的な判断がそれぞれの施設でガイドラインに当てはめて廃止になったとしても必要なものとして残す場合もある。というやり方を示しているガイドラインの内容である。

小林教育長

ガイドラインに沿って後の計画を立てるということである。各課それぞれで注意を払って報告を行ってほしい。中間報告は以上で終わりにしてほしいか。

○全員了承

3 報告事項

(1) 学校教育関係寄付の状況（学校教育課）

○資料2により高木学校教育課長説明（要旨）

株式会社丸陽が9月28日に小中学校の備品費として現金20万円をご寄付いただいた。
いただいた現金は、学校教育費のプログラミングとして購入を検討している。

○全員了承

(2) 第10回九度山世界遺産マラソン参加事業について（スポーツ推進課）

○資料3により池田スポーツ推進課長説明（要旨）

上田市の姉妹都市である和歌山県九度山町で平成30年1月20日（土）から21日（日）に開催される九度山世界遺産マラソンは旧真田町から行ってきた事業である。今年で第10回記念大会を迎えるにあたり、上田市民ランナーを派遣し、スポーツ交流を通じた姉妹都市間の友好関係向上を図る交流事業である。九度山世界遺産マラソン大会に向け、実行委員会を設け市民ランナーの募集していく。種目はハーフマラソンで募集については、広報うえだ11月1日号、市のホームページへの掲載、報道機関への周知依頼、実行委員から各所属団体への周知等を行っている。参加費は実費用、宿泊・保険代相当1万円を予定している。人数については10名程度、随行と運転手を含め15名を予定している。なお、募集人数が多かった場合は、抽選となる。

平田委員

参加資格は。

池田スポーツ推進課長

ハーフマラソンの参加年齢は高校生以上である。

○ 全員了承

(3) 第31回古戦場ハーフマラソン実施報告（スポーツ推進課）

○資料4により池田スポーツ推進課長説明（要旨）

第31回古戦場ハーフマラソンを10月8日（日）に開催された。当日の最高気温が26度と高かったため、参加した人たちからはマラソンの後半で暑くて大変だったという意見があった。大きな事故、トラブルもなくハーフマラソンを開催することができた。ゲストには、塚原直貴さん北京オリンピック100メートルリレー銅メダリストにお越しいただいた。参加人数は2,110名であった。

○質疑

城下委員

「RUNNET」というホームページにハーフマラソンの参加された人たちの感想や意見が

掲載されている。マイナス意見を来年度への課題や参考にしていきたい。

○全員了承

(4) スポーツ関係市長表敬訪問者報告（スポーツ推進課）

○資料5により池田スポーツ推進課長説明（要旨）

市長表敬訪問を9月6日にアルティスタ東御ジュニアフットボールクラブが訪問した。アルティスタ東御の本部が上田市にあることで市長表敬訪問となった。第3回J CカップU-11少年少女サッカー全国大会へ出場されるということでお越しいただき、17チーム中第7位の結果となった。記念品にはスポーツドリンクを差し上げた。

○ 全員了承

(5) 国際友好都市図書館提携シンポジウムについて（上田図書館）

○資料6により山崎上田図書館長説明（要旨）

8月下旬に上田市と友好交流都市である寧波市の図書館が今年で開館90周年を迎え、記念式典の一つとして、標記のシンポジウムが開催され、上田市から中村教育次長、山崎図書館長2名が参加することになった。寧波市と友好提携している海外各国の図書館等の館長・責任者を交えて「図書館と都市文化」などの議題について意見発表を行う。参加者については、長岡京市から2名、中国国内の図書館長が約100名、フランス、イギリスからも参加予定となっている。日程としては、11月1日成田を発ち、4日に帰国する予定である。

○全員了承

(6) 貴重資料紹介展の開催について（上田図書館）

○資料7により山崎上田図書館長説明（要旨）

上田図書館には、花月文庫、歌集文庫、郷土文庫等、貴重文庫の多種コレクションが約32,000冊收藏されている。これらは江戸庶民文化や郷土史研究として知られており、これらの貴重資料を長く保存するとともに、その内容を市民の皆さまに広く紹介し、その利用に資するため2年に1度貴重資料紹介展を開催している。毎回テーマを変え、今回は11回目となり、江戸のコミックとして花月文庫の中から草双紙を紹介することになった。古文書学習会「山なみ」の協力により開催することになった。また、資料展の開催に併せて第3回から図録を刊行しており、委員の皆さまに配布した図録は今回作成した図録である。市民の方には1冊800円で販売している。現在の漫画とは違い、絵だけを見るだけでもためになるものである。開催日程は10月22日（日）までである。

○全員了承

(7) 依水館主屋見学会について（丸子地域教育事務所）

○資料8により久保田丸子地域教育事務所長説明（要旨）

丸子地域にある依水館は、来年で築100年を迎えることになり、その記念に11月4日(土)、5日(日)2日間一般開放を行うこととなった。依水館は、映画「うさぎ追いし 山極勝三郎物語」他、依水館がロケ地となった作品のパネルを展示、また映画で使われた音楽を演奏する予定である。

○全員了承

(8) 子どもの明日を考える集いについて(丸子地域教育事務所)

○資料9により久保田丸子地域教育事務所長説明(要旨)

11月7日(火)午後6時30分から丸子文化会館小ホールにて、伊那市学校支援コーディネーターの武田登氏を講師にお招きして「子どもの明日を考える集い」を開催することになった。事前申し込みは必要なく、たくさんの方にお越しいただきたい。

○全員了承

(9) 行事共催等申請状況について(生涯学習・文化財課 スポーツ推進課)

○全員了承

4 その他

(1) 公民館だより(中央公民館)

・竜野中央公民館長より公民館だよりの説明

○全員了承

(2) 「文化財 de 文化祭」開催について(生涯学習・文化財課)

○小林生涯学習・文化財課長より説明(要旨)

上田市内には国・県・市の指定の登録文化財が300件余りある。これらを後世に継承していくために文化財を活用しながら音楽やパフォーマンス等を開催することになり、今年度で3年目となる。タイトルは、群響メンバーによるアンサンブルコンサートで11月26日(日)に午前と午後の2回制で行われる。場所は旧宣教師館で各25名の定員で参加費は1,500円である。

小林教育長

このコンサートの曲目は分かるのか。

小林生涯学習・文化財課長

広報で募集をしているので事前にならないと分からない。

○全員了承

信州国際音楽村開村30周年について

久保田丸子地域教育事務所長説明（要旨）

10月28日（土）に上田市交流文化芸術センターにおいて、信州国際音楽村開村30周年記念式典を開催する。当日は教育委員会関係者に手伝いの依頼をしているのでお願いしたい。

○全員了承

閉会

教育委員会会議規則第 21 条の規定により署名する。
